

令和 4 年 5 月 24 日 10 時 30 分 ～ 12 時 00 分 於:曾我部町公民館

司会	亀岡清泉荘 代表 松野	記録	亀岡清泉荘 代表 松野
-----------	-------------	-----------	-------------

出席者 亀岡市高齢福祉課・谷口さま、南部地域包括支援センター・西村さま、廣幡さま、曾我部町自治会長・法貴さま、副会長・齋藤さま、南条区長・赤澤さま、口山区長・広瀬さま、穴太区長・圓山さま、民生委員並河さま、リンクす・堀川さま、利用者さまご家族・伊藤さま
亀岡清泉荘・長尾、宮崎、村田

欠席者 民生委員・後藤さま、利用者さまご家族・並河さま

- 5 月 23 日現在の利用者さまの状況（別紙参照）
小規模多機能ホーム登録利用者さま：22 名、グループホーム登録利用者さま：9 名
小規模多機能ホーム及びグループホームの利用状況、報告事項等
- 利用者さまの地域について（別紙参照）
- 職員体制（別紙参照）
- 事業活動について（別紙参照）
- 事業所内の活動について（別紙参照）
- 今後の予定（別紙参照）
- その他

質問・要望・助言	回答・対応
小規模利用者さま、要介護 1 で施設入所されたことについて、状況を聴きたい。	在宅で一人暮らし、毎日デイを利用されていたが、利用開始 1 か月で 3 回ほど朝から自分ひとりで外出することがあり、在宅での支援が難しいという判断で入所となった。
職員体制について、7 月から小規模の看護師が産休に入った場合の対応についてどうするか。	グループホームの看護師が対応することになる。
グループホームの面会はどうしているか。	今は面会は中止している。テレビ電話（zoom、LINE）で対応している。代替手段としてご家族からは喜んでもらっている。
小規模で他事業所の体操レクリエーションとは何か。	リハビリ専門のデイサービスに勤務している元職員が、月 2 回ほど利用者さまの様子を見た上で利用者さまに合わせたレクリエーションをしている。職員にとってもいい勉強になっている。今後も継続していく予定です。
包括支援センターからも体操のレクリエーションに取り組んでいることを紹介してもよいか。	日によって対応できない時もあるが、できるだけ柔軟に対応していきたい。
消防団は月・水・土曜日にポンプ訓練をしている、20 時ころに屯所に集まり曾我部小学校でしている。（7 月 3 日が大会）法貴 隆司様が団長である。	今年度は地域の防災について相談の機会を持つ予定です。
民生委員の改選は 11 月の予定となっている。	また、新しい方が分かれば出席をお願いします。

曾我部町自治会として、今年度の行事については、形をかえてでも実施したいと考えている。特に運動会、文化祭などカラオケは難しいかもしれないが、作品展、野菜の展示即売はできれば実施したい。	町民文化祭は清泉荘の利用者さまも出展しているので、是非参加していきたい。
（亀岡市）ゴールデンウィーク明けからコロナの報告を受けている。コロナとどういう風に折り合いをつけていくか、各事業所で取り組んでもらいたい。	清泉荘では利用者さま、職員で感染者は発生していないが、学校、家族などでその影響を受けている。休校、自宅待機などについては、職員間の協力で何とか対応はできている。
（包括支援センター）京都聖カタリナ高等学校の看護科の実習生の受入れを今年度も予定している。6月～7月で1グループ3名の予定、看護師も地域のことを知ろうということで実習をしている。昨年に引き続き今年度も協力をお願いしたい。	当ホームにもカタリナ OB の看護師や介護職員もいるので、協力していきたい。
（リンクす）グループホーム、小規模多機能も地域の中の状況を踏まえながら、地域と連携している。地域に根差したケアをしているのがよく分かった。	今後も地域との連携を大切にしていきたい。
グループホームは男性の利用者が少ないという印象があることについて。 平均寿命の問題やご縁もあるかも知れない。特養、包括なども女性の利用が多いと思われる。	清泉荘グループホームでは、9年間で7名の男性利用者さまがいらっしゃった。（会議後正確な人数に訂正）年齢は81歳～99歳で平均すると91歳になる。（会議後の調査：女性は26名がご利用）
清泉荘を利用しているときは家族も自分の時間が取れることが良いと思う。	ご家族にも安心してもらえるよう努めていきたい。

次回、運営推進会議は7月20日以降の平日（午前中で考えているが会議室の空き状況では午後もあり得る）で考えている。6月初めに候補日を出し、1か月前には決定します。

今回はグループホームの「外部評価」があります。6月中にグループホームの自己評価を行い、運営推進会議で報告して評価していただきます。

グループホームの環境を見てもらうのが基本となりますが、コロナ禍なので、ビデオ、写真等で紹介することなど検討します。コロナ禍が収まり面会が可能な状態であれば、数名ずつ少人数に分かれて見学していただきたいと考えています。